

(一社) 木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会 建具業界に特化した要望書を提出 産業分類の見直しや若年者育成支援を要望

一般社団法人木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会（原口博光会長）、一般社団法人全国建具組合連合会（佐田時信理事長）、東京建具

協同組合（岡村宣勝理事長）は連名で国会議員に対して要望書を提出。国に対して業界内の経営環境改善や若年技能者育成支援を訴えた。

木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会は木材産業に関連する業界団体が連合し、国に対して木材産業の要望を訴求する目的で結成。国会



要望書を受け取る衛藤議員



原田環境大臣に要望書を提出



太田議員に要望書を手渡す

と連動する議員連盟は与党の国会議員で構成され、現在150名以上の国会議員が参加。合板、繊維板、建具、家具、木材加工機械などの業界団体が参画し、各々の業界の事情を反映させた要望を、国会議員を通じて関連省庁に届けている。また、オリンピックイヤーとなる2020年3月下旬には木の総合文化・ウッドレガシー世界木材デー国際大会の東京開催を企画。世界木材デーは100カ国以上から専門家と職人が集まり、木材と持続可能な未来を促進する文化的なイベント。2013年からタンザニア、中国、トルコ、ネパール、アメリカ、カンボジア、オーストラリアなど、世界各地を巡って毎年開催している。

要望書は木の総合文化・ウッドレガシー議員連盟に所属する国会議員に提出。議員連盟の会長である衛藤征士郎衆議院議員をはじめ、原田義昭環境大臣、太田昭宏衆議院議員、石田祝稔衆議院議員、稲津久衆議院議員に向けて要望を行った。今回は特に建具業界を取り巻く状況の改善に絞る形で要望内容をまとめている。要望の内容は①日本標準産業分類の見直し、②若者が「ものづくり」